

■片平キャンパスマスタープラン 骨格 2007

2008.04.10 up

仙台市中心部に位置する立地特性を活かした都市型学術空間の構築

都市計画道路 土樋細横丁線



東北大学新キャンパス構想で謳われている「仙台都心に位置する利便性を活かしたエクステンション教育の展開と市民交流の場の創出」と「物質材料関係分野の国際研究拠点の構築」を目指し、「学都記念公園（仮称）」等のオープンスペースを中心とした上記のような将来計画とする。

- オープンスペース計画：学都記念公園（仮称）を中心とし、歴史的建造物や保存樹木・記念碑等を活かしながら、キャンパス内の快適な環境形成のためのネットワーク型のオープンスペースを整備するとともに、市民に開かれたキャンパスとしての空間整備を目指す。
- 施設計画：「物質材料関係分野研究ゾーン」「戦略ゾーン」「土地活用ゾーン」の3つのゾーニングを基本とした機能配置とし、建物については、歴史的建造物の創り出す片平キャンパスらしいスケール感を尊重したヴォリュームとする。
- 交通計画：メイン自動車動線をキャンパス外周に集約化し、キャンパス内を歩行者中心の空間として整備する。また、都心に立地するキャンパスであることを踏まえた適切な規模の駐車場をメイン自動車動線に合わせてキャンパス外周部に集約して配置する。

	物質材料関係分野研究ゾーン
	戦略ゾーン
	土地活用ゾーン
	オープンスペース
	平置駐車場エリア
	メイン自動車動線
	サブ自動車動線 (サービス・タクシー等)
	敷地境界